

昭和二十四年十一月二十九日
答弁第六〇号

(質問の六〇)

内閣衆甲第一二〇号

昭和二十四年十一月二十九日

内閣総理大臣 吉田 茂

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

衆議院議員井上良二君提出主食三合配給に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員井上良二君提出主食三合配給に関する質問に対する答弁書

配給主要食糧の量及び品質の向上については、かねてより意を用いて来たところであるが、一人一日当り、いも類を含めて主食の三合配給を実施することは、現状においては著しく困難である。その理由を別表昭和二十五会計年度主食需給推算について説明すれば、左の通りである。

一 別表の主食用需要高は、現行配給基準量による所要量であつて、三合配給を実施するとすれば、所要量の増加は年間五、三五〇千石(約八〇〇千屯)であるのに対し、別表による年度頭初の持越高と年度末の持越高との比較における増加は三、五五〇千石(約五三三三千屯)であるから、別表において予定されている輸入食糧の量が更に増加しない限り三合配給の実施は困難である。

二 なお、明年産米麦の生産状況は、單なる推算であり、輸入見込も一応の概定であるから、年度末の持越高の増をもつて、直ちに増配の是非を断ずることは早計である。

昭和二十四会計年度需給推算

昭和二十四年十一月二十五日
食糧庁

種別 需給	供給			需要			差引
	年度初頭 持越高	買入高	計	主食用	工業用 種子用	計	
米	一四、〇五三	二九、七四〇	四三、七九三	二九、〇六〇	六七三	二九、七三三	一四、〇五三
麦類	五〇七	八、〇六七	八、五七四	七、七三三	三五四	八、〇六七	五〇七
雑穀	八〇〇	二、八四六	三、六四六	一、五三三	一、二五三	二、八四六	八〇〇
内産							
甘藷	—	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	—	二、九〇〇	—
馬鈴薯	—	八三七	八三七	八三七	—	八三七	—
小計	一五、三六〇	四四、三六〇	三九、七四〇	四三、〇三三	二、二八〇	四四、三六〇	一五、三六〇
外国産	五、九七七	二一、〇〇〇	二六、九七七	一六、六〇七	八四〇	一七、四四七	九、四六〇
合計	二一、三三七	六五、三六〇	六六、六六七	五九、六四〇	三、二一〇	六二、八三七	二四、八三〇

註 (1) 本需給表は昭和二十五年四月から同二十六年三月までの期間の推算である。

(2) 本表においては甘藷四億万貫、馬鈴薯一億五千万貫を主食用に計上してある。

(3) 輸入食糧の買入は原穀三四〇万吨の玄米換算である。

(4) 操作上の自然減耗は主食用に含んでいる。

(一) 昭和二十四年度輸入食糧

品目	輸入量(玄米石)千石	玄米一石当弗	三六〇円価格
小麦	七、四八〇(1)	一三・五〇 ^弗	四、八六〇・〇〇 ^円
	三、二四〇(2)	一二・八三	四、六一八・八〇
米	五五三(1)	二五・二〇	九、〇七二・〇〇
	一、九九九(2)	二四・〇〇	八、六四〇・〇〇
大麦	一、三一(1)	九・三六	三、三六九・六〇
	九四七(2)	八・六五	三、一一四・〇〇
高粱	三七三	八・四一	三、〇二七・六〇
ライ麦	四五(1)	一〇・〇七	三、六二五・二〇
	二二六(2)	九・三一	三、三五一・六〇
玉蜀黍	五六三(1)	九・七二	三、四九九・二〇
	二一八(2)	八・九八	三、二三二・八〇
高粱澱粉	六三	二一・七八	七、八四〇・八〇
サゴ澱粉	一四	一四・三一	五、一五一・六〇
あわ	一四	八・四一	三、〇二七・六〇
タピオカ粉	三五	一六・二一	五、八三五・六〇

大豆	一、一三七(1)	一九〇八	六、八六八・八〇
豆類	八四	一九〇八	六、八六八・八〇
大豆	六三六(2)	一五〇〇	五、四〇〇・〇〇
大豆ケーキ	二〇四	一二・七二	四、五七九・二〇
ミール	一四一	一八・一三	六、五二六・八〇
小麦粉	三五	二二・二六	八、〇一三・六〇
落花生	一四	五七・二五	二〇、六一〇・〇〇

(註)

(1) 四月―一〇月 パリテイ 一四三、〇二

(2) 一二月―三月 パリテイ 一五六、四

◎輸入量総計 一九、三三三二千石(玄米石)

(二) 昭和二十五年輸入食糧

品目	月	輸入数量 玄米石(千石)	一石当 弗	三六〇円 価格
小麦	四―六 _月	二、六八九	一二・八五 _弗	四、六二六 _円
	七―一〇	三、五八三	〃	〃
	一一―三	四、四八三	〃	〃

玉蜀黍		米		ライ麦		大麦	
一一一三	二二八	一一一三	三五四	一一一三	二八三	四一六	一〇、七五五
七一一〇	一八二	四一六	八四九	七一一〇	二二二	四一六	(國際小麦協定一一・六八)
四一六	一三七	小計	二四・〇二	六一四	九・一九	八・五四	四、二〇五
一一一三	五、九九五	一一一三	二、四九八	七六七	一、八四一	三、〇七四	
小計	八・九九	七一一〇	一、九九八	一、八四一	二二二	三、三〇八	
四一六	三、二三六	四一六	八、六四七	二二二	九・一九		
一一一三	〃	一一一三	〃	七六七	〃		
小計	〃	小計	〃	一、八四一	〃		
七一一〇	〃	七一一〇	〃	二二二	〃		
四一六	〃	四一六	〃	二八三	〃		
一一一三	〃	一一一三	〃	三五四	〃		
小計	〃	小計	〃	八四九	〃		
七一一〇	〃	七一一〇	〃	二四・〇二	〃		
四一六	〃	四一六	〃	一、九九八	〃		
一一一三	〃	一一一三	〃	二、四九八	〃		
小計	〃	小計	〃	五、九九五	〃		
七一一〇	〃	七一一〇	〃	八・九九	〃		
四一六	〃	四一六	〃	三、二三六	〃		
一一一三	〃	一一一三	〃	〃	〃		
小計	〃	小計	〃	〃	〃		

大 豆		小 計	
四一六	六一八	一五・九一	五、七二八
七一〇	八二四	〃	〃
一一一三	一、〇二九	〃	〃
小 計	二、四七一	〃	〃
合 計	二二、四五八		

(三) 品目別輸入数量、石当り単価については予算上における輸入補給金計画をお示ししますが、輸入先別は目下のところ不明であります。

右答弁する。